

塩害土壌・ナトリウム土壌の改良剤

フィックス pHix

土壌に蓄積した塩分やナトリウムを除去します

土壌中の塩分は植物の成長に重大な影響を与え、生育障害を引き起こします。

高い濃度の塩分やナトリウムが蓄積した土壌では、植物の健全な成長は極めて難しく、品質の低下や収穫量の減収に繋がります。特に施設栽培などでは蓄積や濃度障害が起きやすくなっており、除塩や土壌改良に手間が掛かります。フィックスを使用することにより、これらの塩害土壌の改良を行い、生産性の高い土壌に復元します。

土壌改良剤フィックス

フィックスは、有機酸複合体を形成する特殊な製法で作られた液体のフミン酸を主成分とする商品で、海草エキスが含まれています。

この特殊な製造法は、微生物が作り出す天然の界面活性剤を作りだし、他の商品にない特性を持っています。主な成分は、13.9%のフミン酸、1.1%のタンパク質、0.5%の炭水化物、その他の有機物0.03%を含みます。

フィックスの特徴

- 海草エキスが、自然本来の形で成長のための刺激を植物に与えます。
- 可溶性の塩類をイオン封鎖し、生育障害を緩和し改良します。
- 土壌微生物の活動を促進します。
- 土壌中の塩素やナトリウムの濃度を下げると共に、pHを改善します。
- 荒廃して価値のなくなった土地に、生産性を復活させ価値を生み出します。
- 土壌以外の資材（有機質肥料、堆肥など）の塩分も改良します。

フィックスの物性

外 観	黒褐色の液体
臭 い	マイルドなイオウ臭
沸 点	摂氏100度以上
水に対する可溶性	100%
比 重	1.056
揮 発 性	なし
p H	9.0-9.5

フィックスの使用量

- フィックスの標準使用量は、1リットルで1,070m²の畑に使用出来ます。
- 塩分やナトリウムの量が非常に多い場合は、使用量を増やす必要があります。
- 高濃度の場合、2-3年にわたりご使用いただくことが必要になる場合もあります。

フィックスの使用方法

フィックスは植物の成長中にも用いることはできますが、効率良く結果を出すためには春か秋のご使用が適しています。

- (1) 他の薬剤などを使用した場合、タンクは清掃してください。
- (2) タンク内に規定の水とフィックスを入れ、十分に攪拌してください。
- (3) 希釈倍率は1,000倍です。(フィックス：水=1：1,000)
1リットルで1,070m²の処理が可能です。(4,045 m²/1本当たり)
- (4) 対象となる場所にムラの無いように散布してください。

使用上の注意

- フィックスはほとんど全ての肥料や農薬と一緒に使用することができますが、念のために事前に試験を行った上でご使用になってください。
- イオウの臭いがフィックスにはあります。不快かもしれませんが有害性はありません。
- 土壌に適切な水分がないと十分なフィックスの改良効果が得られません。

保管上の注意

- ◆ 直射日光を避けて冷暗所に保管してください。
- ◆ 子供の手の届かない所に保管してください。

フィックス の用途

- 農業（田畑、果樹園、ビニールハウス等）
- 園芸（花、植木等）
- 芝地（公園、ゴルフ場等）
- 緑化（植生工事、植栽工事）
- 堆肥の製造（家畜糞尿）
- その他の塩害土壌

荷姿：3.78ℓ/本（1ガロン）

原産地：アメリカ合衆国

総輸入発売元：名東化製株式会社

〒464-0850 名古屋市千種区今池五丁目 6-11

TEL：052-731-1396 FAX：052-741-0782

発売代理店：株式会社アリアケ

〒659-0041 芦屋市若葉町 2-2-532

TEL：0797-32-9977 FAX：0797-32-9978

代理店：